

AMORA 活動報告

バングラサイクロン被害 調整員らが 緊急医療支援開始

今月十五日、バングラデシユ南部のベンガル湾沿岸に大型サイクロン「シダル」が直撃、被害が拡大しているのを受け、NPO法人アムダは緊急医療支援を始めた。

国連人道問題調整事務所（OCHA）が十八日に発表した情報では、死者数は二千二十七人、現地報道によると、漁民ら数千人が行方不明で、死者が一人に達するおそれがあるという。

同国軍などが本格的な搜索や救援活動を始めたものの、各地で道路が寸断されており、車両が被災地に近づけず、活動は難航。生存者の多くが十分な水や食糧が無く、小島などで孤立しているとみられる。

同法人は、本部より館野和之、谷口敬一郎の両調整員を被災地へ派遣し、日本・バングラデシユ友好病院と連携し、同ネパール支部などより医療従事者の派遣を調整している。



岡山空港を出発する館野和之調整員（中央）